

15. 栄町こども園保護者への「魅力ある学校づくり構想」の検討状況説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成28年（2016年）12月16日（金）17時30分～

○場 所：栄町こども園

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>小学校高学年から教科担任制を導入することで、教員のスキルが上がり、その結果、児童の学習効果が上がるといことも考えられるのか。</p>	<p>小学校では通常、高学年等で専科の先生が音楽や家庭科を教えることを除くと、担任の先生がほとんどの教科を一人で教えています。そのため、自分のクラスの子どもたちに、一度授業した内容を他ですることはありませんが、教科担任制になると、先生ごとに教科を分担し、複数クラスで授業をするので、同じ内容の授業を複数回実施することになります。そのため、自分が担当する教科についての教材研究に費やす時間が増え、より深く準備することができます。さらに、同じ授業を複数回することで、授業スキルも上がり、子どもたちにより分かりやすい授業ができるようになることが考えられます。さらに、教科担任制は子どもたちに関わる教職員の人数が多くなるというメリットもあります。</p>
<p>英語の授業は、英語科の教員とAETが一緒に行うのか。</p>	<p>資料のP17に、箕面市の小中一貫校である彩都の丘学園の外国語活動の様子を載せています。ここには、2人の教員が前に立ち、片方の先生が主となって授業をする一例を示していますが、単に2人のうちのどちらかが主となるというだけではなく、AETの良さを活用した授業方法は多種多様にあります。例えば、英語科の教員が授業を進行し、英語の発音をAETが行ったり、英語だけしか使わない授業でAETを活用したりすることが考えられます。豊中市の中学校では、すでにAETを派遣する事業を展開していますが、残念ながら学校に常駐しているわけではありません。新しい学校では、AETを是非常駐させたいと考えています。</p>
<p>北校と南校の学校規模は同じになるのか。</p>	<p>北校、南校とも約1,000人、各学年3～4学級の規模になることが見込まれています。</p>
<p>南部コラボセンターは北校だけでなく、南校とも連携するのか。</p>	<p>（仮称）南部コラボセンター（以下「南部コラボ」）は、南部地域に点在する公共施設を再編し、さまざまな機能を持つ地域の拠点にしたいと考えています。今でも、庄内公民館では、庄内地域の中学生を対象に、学習の場を提供する取り組みとして、「学力向上支援事業（日曜学習）」を実施していますが、南部コラボでも、例えば、学校でもない家庭でもない第三の場所として、子どもたちの放課後の居場所や学習の場を設けることを想定しています。</p> <p>南校は南部コラボと距離が離れますので、例えば、南校の校舎内に学習支援の場を設け、南部コラボと連携していきたいと</p>

	考えています。
在学中に学校を移動しないといけなくなるのか。	資料 P34 に再編スケジュール（案）を載せています。子どもたちが過ごしながら工事をするのではなく、新校舎を建設する用地を空け、2年間で工事を完了させる想定です。北校の場合、来年度、つまり平成29年度（2017年度）中に計画を策定し、設計に2年かかり、平成32年（2020年）から2年間建設工事を行います。この期間中は庄内小学校と第六中学校の敷地を空けるため、北校校区の子どもたちは、野田小学校、第十中学校の敷地に通うこととなります。平成34年度（2022年度）に庄内小学校、第六中学校敷地に完成した新校舎へ、再度移動することとなります。
全国にある施設一体型小中一貫校では、スクールカウンセラーが常駐しているのか。	全国にある施設一体型小中一貫校に、必ずしもスクールカウンセラーが常駐しているわけではありません。今現在も、大阪府の事業として、豊中市内の中学校区ごとにスクールカウンセラーが週に数日、配置されていますが、新しい学校にはスクールカウンセラーをこれまで以上に配置したいと考えています。
資料に南校の通学路についての説明が載っていなかったが、南校の通学路はどうなるのか。私の子どもは庄内西小学校から千成小学校の敷地に通うので、線路を渡る箇所について不安である。	資料では各小学校区の通学路の想定について、お示しすることができていませんが、各小学校で個別の説明会を開催する際には、詳しく説明を行っているところです。庄内西小学校の場合、千成小学校もしくは庄内南小学校の敷地へ通う場合、阪急神戸線の線路を渡っていかなければいけません。地下道を通っていく2ルートと、最勝寺付近を通るルートの、計3ルートを想定しています。まず一つ目は、北側の地下道を通る場合ですが、千成小学校へ向かう場合、地下道を北向きに通った後、阪神高速の側道横を南へ行き、阪神高速の高架下を通る、というルートを考えています。二つ目は、阪急神戸線を地下道で渡り、遊歩道へと抜けて行くルートです。三つ目は、最勝寺の前の阪急神戸線の高架下を通るルートです。踏切がいくつかありますが、登下校で渡ることはとても危険なため、踏切は渡らせないようにし、どのルートも子どもの安全を最優先に考えました。それぞれのルートについて、どのような交通状況であり、課題が何なのかを、現地に行って確認をしています。これらのルートはあくまで想定段階であり、今後、計画が定まった後、具体的な検討や協議を、関係部署、関係機関等と連携して進めていきたいと考えています。
この説明会の日程はいつ決まったのか。私が聞いたのは3日前だった。もっと聞きたい保護者はいたのではないかと思う。	11月5日、6日、9日の全体説明会が終わってから、各こども園と日程調整しましたので、周知が十分ではなく、申し訳ありませんでした。今後も、保護者の方が、少人数でもお集

	<p>まりになり、説明が聞きたい、とご連絡いただければ、是非お伺いして説明させていただきたいので、お気軽に学校教育課へご連絡ください。</p>
<p>北校、南校ともグラウンドが狭いのではないか。シミュレーション図をみると、広々と遊べる感覚がなく、窮屈な中でひしめき合っているイメージがする。</p>	<p>資料でお示ししています施設一体型校舎のシミュレーション図は、あくまで一例であり、決まったものではありません。想定として9学年で35学級、1,000人規模の施設一体型小中一貫校として、学校としての運営が可能かを検証するための資料です。確かに、今回の候補となっている敷地は、十分な広さの余裕があるとは言えませんが、設計上の工夫により、子どもたちの遊び場などを、さらに広く取ることもできるのではないかと考えています。先進事例をみますと、冬場はプールに蓋をして遊び場にしたり、多目的室を縄跳び等の軽い運動ができるような空間にしたり、さまざまな工夫をされています。</p> <p>今回の北校、南校よりも厳しい面積条件の学校でも、設計の工夫等で、課題を克服している事例が全国にはたくさんありますので、それらも参考にしながら、より良い教育環境を整備してまいりたいと考えています。</p>
<p>制服はどうなるのか。在学途中で制服が変わることもあるのではないか。</p>	<p>制服については、まだ決まっていません。計画策定後、準備期間中に保護者や地域の皆さま、学校関係者等から意見をいただきながら、検討を進めたいと考えています。</p>
<p>施設一体型小中一貫校になったら、運動会は1～9学年で実施することになるのか。</p>	<p>施設一体型小中一貫校になったからといって、必ず小中が一緒に運動会をする、というわけではありません。全国の施設一体型小中一貫校の取り組み事例を見ますと、学校ごとの事情に応じて、施設一体型であっても、小中を分けて実施している学校もあります。新しい学校が施設一体型の小中一貫校として開校した際、運動会に限らず、小学校と中学校がどのように交流し、行事を行っていくのかを検討する必要があります。</p>
<p>私の子どもは、千成小学校に通っていて、私自身は、庄内地域の小学校の教員であり、今は育児休暇中である。今の小学校でも、例えば、体育の授業で、体育館の割り当てを決めるのが大変なので、それに中学生も加わってくると、大変厳しい状況になるのではないか。体育館や特別教室を巡って、小中の教員が対立するのではないか。最終的には、現場の教職員が教育活動を行うので、もっと現場の声を聞いてほしい。昨年まで現場にいたが、保護者から、新しい学校について聞かれても、分からないと答えるしかなかった。</p>	<p>庄内地域の小中学校の教職員対象に、事前に各学校へ伺い、構想案の内容をお伝えする機会を持ちました。今後、新しい学校を作っていくにあたっては、現場の教職員の協力無しには、進めることはできません。今の段階では、まだ計画が決まったものではありませんので、具体的な検討はできませんが、計画が決まりましたら、新しい学校の開校に向けた様々な準備を、教職員の皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。</p>

<p>放課後こどもクラブの子どもたちの下校時が不安である。</p>	<p>放課後こどもクラブの子どもたちの下校時の安全対策については、こども未来部と連携して検討してまいりたいと考えています。</p>
<p>資料の再編スケジュール(案)は決定か。ずれることはあるのか。</p>	<p>再編スケジュールはこのように進めていきたいという想定であり、決まったものではありません。さまざまな不確定要素がある中で、スケジュールがずれる可能性はありますが、庄内地域が抱える諸課題は、喫緊の課題として、スピード感を持って取り組みたいと考えています。</p>
<p>私は建築現場で働いているが、施設一体型小中一貫校を建てるとなると、この再編スケジュールは、ぎりぎりの期間だと思う。早く建てるとしたら、突貫工事になる可能性もあるのではないか。</p>	<p>工事期間を短縮させてスケジュールを早まらせることはない、と考えています。</p>